

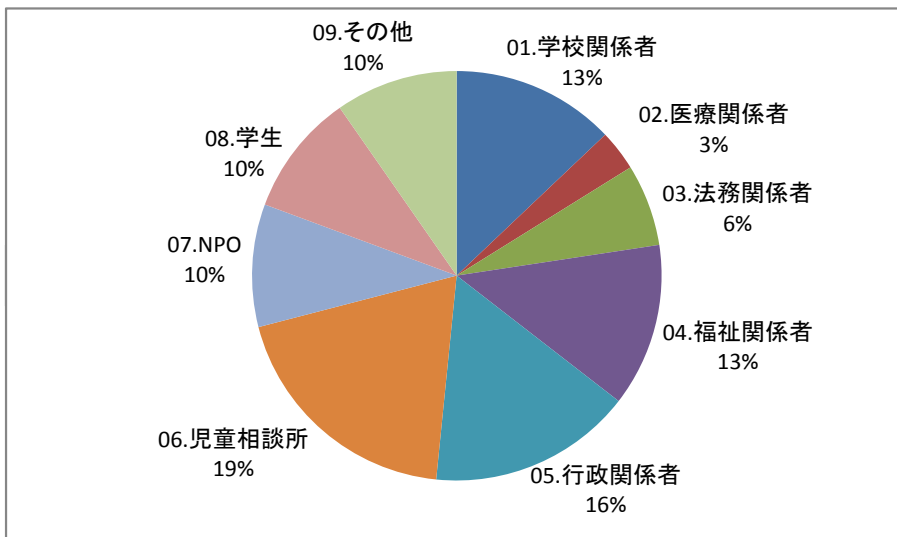
家庭内で暴力を目撃した子どもの心の回復プログラム(2010/12/11.12)アンケート集計

1日目

1. 所属

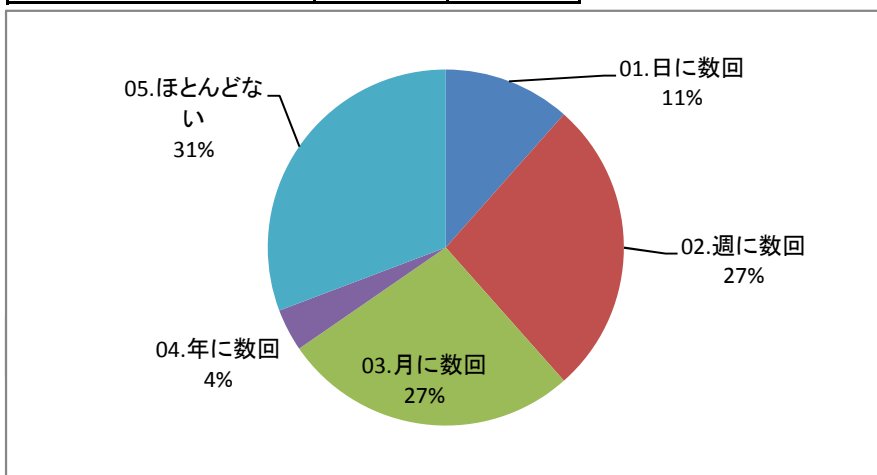
	人数	%
1.学校関係者	4	13%
2.医療関係者	1	3%
3.法務関係者	2	7%
4.福祉関係者	4	13%
5.行政関係者	5	17%
6.児童相談所	6	20%
7.NPO	3	10%
8.学生	3	10%
9.その他	2	7%
計	30	100%

9. その他(理由)
・神奈川県アドバイザー



2. あなたは、暴力の相談を受けることがありますか？

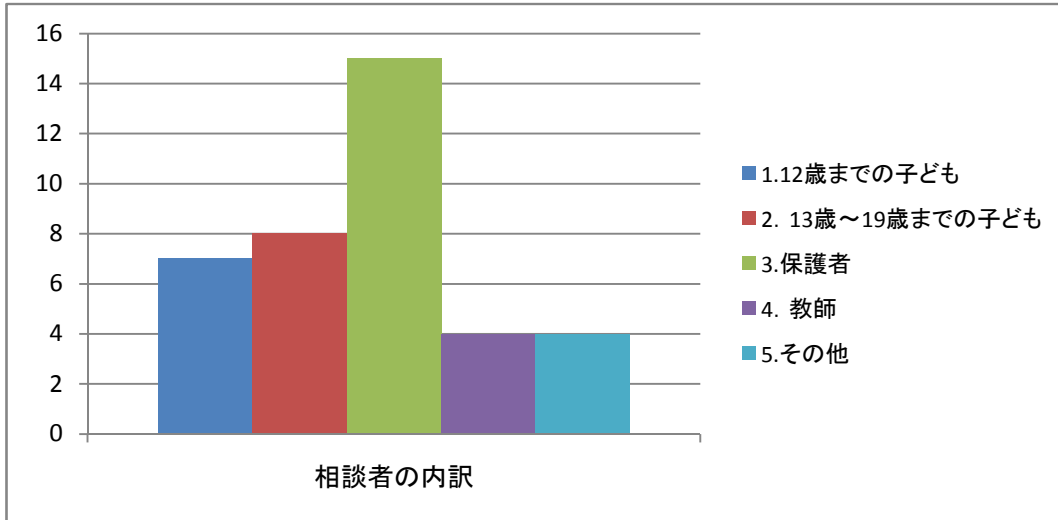
	人数	%
1.日に数回	3	12%
2.週に数回	7	27%
3.月に数回	7	27%
4.年に数回	1	4%
5.ほとんどない	8	31%
計	26	100%



3. 2で、相談を受けるとお答えの方にお聞きします。だれからの相談が多いですか。(複数回答可)

	人数
1.12歳までの子ども	7
2.13歳～19歳までの子ども	8
3.保護者	15
4.教師	4
5.その他	4
計	38

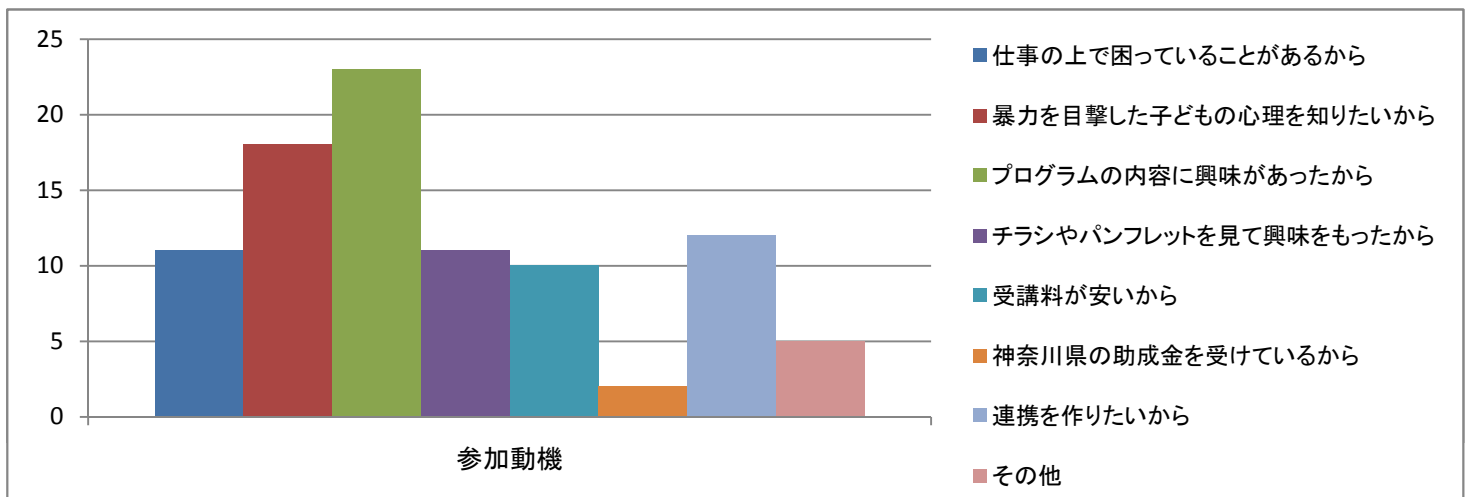
9. その他(理由)
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者以外の家族、親族 ・ケースワーカーから ・被害当事者(引きこもり、AG、アディクション)



4-1.何故、この研修会に参加しようと思いましたか？(複数回答可)

	人数
1.仕事の上で困っていることがあるから	11
2.暴力を目撃した子どもの心理を知りたいから	18
3.プログラムの内容に興味があったから	23
4.チラシやパンフレットを見て興味をもったから	11
5.受講料が安いから	10
6.神奈川県助成金を受けているから	2
7.連携を作りたいから	12
8.その他	5
計	92

09. その他(理由)
<ul style="list-style-type: none"> ・実践できるプログラムを学びたいと思って。 ・以前から貴センターの存在は知ってはいたのですが、今回参加できる機会があったため。 ・仕事に活かせる経験を得られると思ったから。 ・スキルアップ



4-2 参加動機を、もう少し詳しく教えてくださいませんか？

- 1 日常的に虐待対応を行っているが、子どもへの対応はまとまった考え方に基づいてかかわっている訳ではなく、試行錯誤で行っているため
- 2 プログラム内容そのもの
- 3 子ども達の気持ちを100%わかってあげることができないが、言葉にできない思いを私が代わりに歌にして伝えることができたらいいなと思います。
- 4 虐待防止プログラム、個別カウンセリング等の研修は、日頃の業務の中にもあるのですが、与えられた研修に全く興味、関心がないわけではないのですが、自分で選択した研修(今回の研修は児相では扱っていないため)に参加するものとはモチベーションが異なるので、是非、日頃とは異なるプログラムを学び、実践の参考にしたいと思いました。
- 5 児相で働いている。暴力を受けたもしくは見た子どもが、中学生、小学生高学年になって、家庭内暴力や非行のような行動をとるようになる事例が多いことに気づいた。暴力の影響は、何年も後に顔を出すのではないかと思った。静かな時に何も起こってない時に子どもにアプローチできる事はないか知りたかったため。
- 6 来年、児童養護施設に実習しに行く予定なので、実際に暴力を目撃した子どもの「心のケア」について知りたかった。またDV現場以外にも活用できると思って参加しようと応募した。
- 7 暴力を目撃した、受けた子どもはどんな影響があらわれますか？ どんな対応をすればいいですか？
- 8 普段、DVにさらされた子どもの支援をしているので、心のケアの在り方の参考にしたいと思いました。また、児童養護施設で「感情」についてのワークショップを行っているので、その参考にしたいと思いました。
- 9 業務の中で暴力の被害にあっている成人、子どもと接する事が多く、子ども対象のグループプログラムが有効なのではないかと思った。
- 10 県のアドバイザーとしてだけでなく、今、現在児童養護施設の子どもの関わりの中で、参考になると思い参加させていただきました。
- 11 何も分からないまま児童相談所の仕事に就いたので、少しでも自分のスキルアップを図るため。
- 12 職場において、何か参考になることがあればと思い、申し込んだ。日常業務としては、非行や離婚などの問題を抱えた人と個別的に面接することが多いが、別の形で関わり方の可能性もさぐりたいと思っているため、その参考にしたいと考えた。
- 13 ・元々、被害者支援に興味があり、現在、第一東京弁護士会の被害者保護委員会で活動中。
・元々、子どもの人権(特に、子の最善の福祉の観点)に興味があり、児童の支援体制を見学するなどしていた。
・司法修習のとき、瀧田さんの講義を聴いて貴センターの活動に興味があった。本プログラムについても、早く受講しようと考えていたが、なかなかスケジュールが合わず、今日に至った。
- 14 いじめへの対応について研修を深めたいと考えていたところ、このチラシを見た
- 15 子どもへの回復プログラムの流れを知り、カウンセリングの中で活かしたい。バタードウーマンの回復にも活かしたい。
- 16 現在、DVの目撃も含めた様々な虐待を受けた子ども達とその保護者を診ています。DVをうけた大人(親)へのプログラムや治療を紹介しているものが多いのに対し、子どもへのプログラムについては少ないため、そういう部分を学びたくて参加させて頂きました。
- 17 自分が受けているケースに暴力を目撃した子どもがいるから
- 18 DVの当事者支援は多くあるが子ども支援が少ないと聞き、自分が当事者になった時、会った時どうやって力になれるか学べると思った。
- 19 仕事&仕事以外の日常でもDVまたは疑いまたはかくしている話せない人がたくさんいます。子どもとそれに関わる家族を少しでも救いたい役に立ちたいと思ったからです。
- 20 生徒と接していて経済的な事で親に従って生活しなければならない。そこに息詰まりを感じます。何をやっても仕方ないと思ってしまっています。しかし、知識は必要であると確認しました。
- 21 DAPのもう少し詳しく内容を知りたかったので来ました。自分達の開発したプログラムを展開する際の参考にしたいので勉強してきました。
- 22 シェルターの運営の中で子どものケア・プログラムを頭に入れて、子どもたちと接するのを感じたので
- 23 仕事にいかすことができれば・・・と思い参加しました。
- 24 プログラムの詳細を知り、施設で活用・応用できる部分はないかと思ったため。
- 25 DV被害者の支援を行う中で、子どものケアが充分に行えていないのを感じる為。
- 26 婦人保護施設で働いているが、子どもはあくまで、同伴児であり、ケアされる主体と見られていない。すこしでも、知識を身につけ、東京の女性相談センター以上のサービスを提供できたら・・・と大きなことを考え、参加しました。
- 27 現在、小学校で毎日子どもたちと関わっており、複雑な家庭も多い。様々な状況下にある子どもたちに少しでも対応していくためには、自分も勉強しないと対応しきれないと思ったため。
- 28 アメリカ、DAP作成プログラムを日本用に修正したことに関心があります。「権利」という点も日本にどの様に解釈されるのか、そのハードルをどの様に越えて行くかも知りたいところです。→5の研修で知りたい内容にもなります。

5. この研修で何が知りたいですか？この研修に何を望みますか？

- 1 このプログラムを行うことによる子どもの変化
- 2 実践可能なプログラム、具体的に何をするか。が知りたい。その効果、目的等(応用可能だが)ベースとなることが知りたい。
- 3 大人はどういった対応をすべきか。現実あどうか知りたかった。
- 4 具体的な回復プログラムの内容(流れ)
- 5 ・ワークの方法(目的を明確に) ・具体的なすすめ方
- 6 全体的な話だが「実際にどういったプログラムなのか?」「どんな子どもが受けて、効果はどのくらいあるのか?」を知りたい。様々な現場に置き換えて活用していけるようになりたい。
- 7 暴力を目撃した子供たち、何を考えるのが、どれほどキズついたのか。将来、何が影響ありますか?どう接したらいいでしょうか?
- 8 子どもの緊張した心がほどける手がかりを知ることができたらと思います。
- 9 具体的に教示、実施の手順を知りたい。
- 10 子どもの心について知りたい。その「心をもった子どもたち」とどのように対応したらいいのか知りたい。また、困った場合の対応のバリエーションを増やしたい。プログラムの内容を体験したい。
- 11 子どもの気持ちをそれがどう変化していくのか。
- 12 今回学んでいあるプログラムを実際に受けた子供たちが参加したことによってどんな感想や印象をもっているのか、分かれば教えていただきたい。
- 13 子どもの心がどのように回復されるのか。そもそも回復することが可能なのか(どの程度可能なのか)
- 14 DV被害の子どもの心理と対応について
- 15 回復の道すじかな。4と似た答えですが。
- 16 DVを目撃した子ども達のプログラムを具体的に学びたいです。個人情報の問題もあり、難しいとは思いますが、実際に行っているプログラムの様子を見学できたら…と思います。
- 17 もちろんDVを目撃した子のケアー
- 18 DVの現状、対処方法等、現場の生の声も聞こえると思い
- 19 子どもとそれに関わる家族の回復できるためのスキル
- 20 自分のスキルをあげたいと思いましたが、ちょっと無理かも知れませんが勉強した事により生徒に何らかの「力」になればと思います。
- 21 子への関わり方、伝え方、引き出し方、サポートの基本プログラムの構造など。このプログラムに関心を持たれる方々への興味などもありました。
- 22 プログラムの内容、構成、どのように進行するのか。について
- 23 実際にプログラムを行ってる場面のDVDなどが見れるともっとイメージが持ちやすいと思いました。(守秘義務の関係で難しいと思いますが…)
- 24 ・子どもの心理
・リーダーの資質など
・プログラムの流れ、詳細
- 25 子どもがどのように傷つき、どうケアして行けば良いのか。
- 26 子どもへの対応、具体的な声かけの工夫。
- 27 具体的なワークと対応方法
- 28 日本で何が起こっていて、各地でどんなことをしているのかも知りたいところ(参加者の部署などで) 輸入プログラムを日本用に改善して実施し、効果も知りたいです。(DAPを汎化したいですね)

6. ご自由にお書き下さい(例)改善点、ご意見、ご感想など

- 1 回復の指標として、ある程度の尺度ができるのはとてもいいと思いました。子どもの気持ちを体感できた。正直こんなに入り込めるとは思わなかった。
- 2 子どもの役を私ができるだろうか…と思ったが、少し気持ちがわかった気がする。子どもたちは、「言葉」にできないから他の事で表現している。全てに意味があるんだ…と感じました。
- 3 「最初のセッションの具体的な導入のあり方」や、「DAPのグループに参加する子どものことを、母親からの説明に委ねてしまっているのか」など、もう少し導入部分の説明があった方が分かりやすかったと思います。会場の準備、環境作り、お疲れ様です。明日も楽しみにしています。
- 4 他のグループのワークがとても参考になった。リーダー役、子役、両方することで、両者の気持ちを知った。普段接するとき、特に子役の気持ちを見失いがちになるので、このような研修は大切だと思った。
- 5 ロールプレイを通して、自分の子ども時代や体験を思い出して改めて感じたこともあった。新しい手法で児童相談所で働いている方からの現状も知れて新鮮だった。
- 6 全体の参加人数がちょっと多かったように思いました。グループワークを始める前、もう少し丁寧に、行う際に留意点、進め方の説明がほしいと思いました。
- 7 勉強になりました。子ども役から学ぶ事が多かったです。後半が楽しみです。
- 8 ・これだけの人数、それも専門の方達が集まったことは素晴らしいことです！ぜひネットワーク化しましょう！
・ワークのポイントがはじめは分かりにくかった。10回分を2回でするので(スピードが早くて?)ファシリテーター+サブの動き方を体験することが主な狙い？それとも子役になることで、子どもの心情を追体験？両方？
・アメリカのプログラムらしいと思いました(考え方のベースが私たちJAMネットワークに似ていると思いました。)二日目期待しています。グループ、シャッフルするのでしょうか？多くの方とつながりが持てるようにしてほしい。
- 9 「いじめ」や「デーティング・バイオレンス」など、10代の子供向けプログラムについても知りたい。ワークショップは最初少し躊躇があったが、そのうち慣れてきた。
- 10 少しの時間であったが、セッションを体験して、リーダー側の負担の重さを感じた。二次被害にならないために、何に気を付けるべきか、もう少し考えてみたい。
- 11 具体的内容でとてもわかりやすい。
- 12 「直面」が大変だないつも思います。
- 13 自分が子どもの役をすることで、集団の中で子ども達が大人にどう声がけをしてほしいのか体験できたと思います。
- 14 性暴力被害を受けた子のケアのプログラムはあるのか？
- 15 ワークショップは役立ちました
- 16 高校生にも大切なプログラムでした。子どもにとっても声がけ気づきはとても大切な事だと再確認できました。いろいろな職種の方と知りあえ、よい機会になりました。ありがとうございました。
- 17 ・私たちの行っているプログラムとの相違点もたくさん気づき、学びとなりました。
・サブリーダーの見本がもう少し見たかったです。
・今回は直前で2日目に参加できなくなり残念でした。またの機会に調整して参加したいと思いました。
- 18 子どもになりきることが結構難しかった。
- 19 ・いろいろな専門職の方が参加しており、それぞれの意見を聞くことも大変勉強になりました。
・ワークショップで体験して感じる事ができ、貴重な経験ができたと思います。
- 20 楽しく参加させていただきました。明日もよろしくお願いします。※演じる子どものパターンをカードやくじ引きで指定去れたりすると更に演技に力が入るかな?(笑)暴れる子、わがままな子、静かな子とか…
- 21 児童の専門ではないので難しい所が多いですが、関係づくりや自尊心を持たせる等、参考になる点は沢山ありました。
- 22 ワークはやってみることで、更に深く知ることができ、とても良かった。
- 23 ワークショップ形式で子ども側、リーダー側の両方を体感できたのがよかった。
- 24 DVの実態(発生し易い要因←日本の風土) 日本独特の課題→日本的解決方法(法整備を含め)
"グループダイナミクス"いいですね！

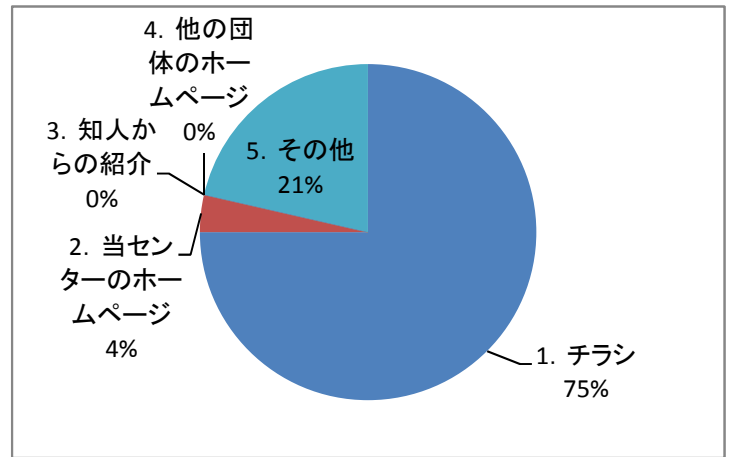
2日目

1. 本プログラムの開催を、何で知りましたか

	人数	%
1. チラシ	21	75%
2. 当センターのホームページ	1	4%
3. 知人からの紹介	0	0%
4. 他の団体のホームページ	0	0%
5. その他	6	21%
計	28	100%

1. チラシを入手した場所
児童相談所、職場、いずみのフォーラム、市役所、神奈川県教育委員会、埼玉県SC研修会での瀧田先生の講演会、市立図書館書架、越谷市男女共同参画支援センター、日野市男女平等課、男女共同参画センターのチラシ架、学校、東京ウィメンズプラザ

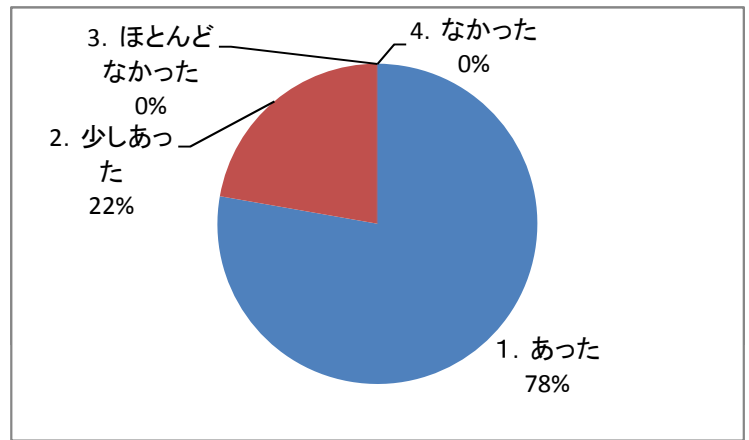
5. その他(理由)
スタッフより教えてもらった。昨年この研修を知る機会があった。



2. 本プログラムを受ける前と受けたあとで、どのような変化がありましたか

(1) 仕事や活動の上で参考になることがありましたか

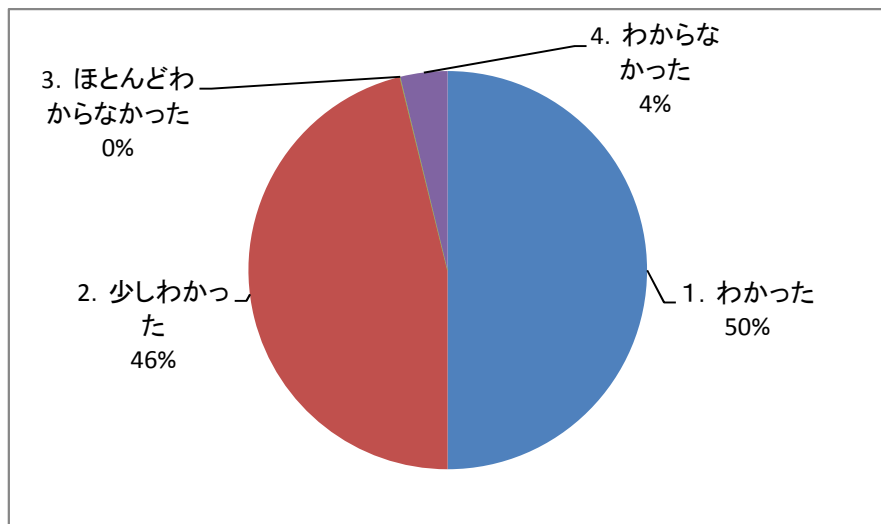
	人数	%
1. あった	21	78%
2. 少しあった	6	22%
3. ほとんどなかった	0	0%
4. なかった	0	0%
計	27	100%



理由をお聞かせください
新しいことをたくさん学びました！多くの人につながれて、今後、絶対、支援の大きな力になると思いました
はじめて参加しました。1つの家族にこんなにも団体や人が動くんだと知りました。
いろいろな職種、立場の方がいて勉強になった。
ロールプレイを行って子どもの立場に立つことが経験できました。
WSのベースになっていることが同じなので、承認をいただいた気がしました。
子ども心理について少し分かった気がします。
回復プログラムの全体像がみられた。
様々な専門家の意見が分かった。
DVへの理解が深まった。
(子どもに)直面させる(していくようにする)道筋が一つ分かりました。
悩んでいたことがずっと解決できた。
各機関との連携と専門情報
児童相談所の仕事内容がより理解できた。しかし、職員の熱意に拠っていて実際にできないことも多いのではないかと。
子どもになりきった人達の感想、いろいろな子どもの声が聞けた気がします。
男性がDV支援に関わる、ということの大切さを知った。
さまざまな支援方法、相談機関を知ることができた。
何でも吸収しようという気持ちで来ました。2日間の趣向を凝らした内容で良かったです。
1対1でかかわることが多いので、グループでできることの力を感しました。是非、職場でも行いたいと思いました。
子どもの立場で感じる事ができた。プログラム展開、ファシリテーターの役割の難しさを感じた。
支援方法を攻めて考えることができた。
児童相談所の現状、暴力を受けている子どもの対応、ケースetcがとても参考になりました。
子どもの気持ちの動きが少し体験できた。グループダイナミクスが体験できた。

(2) 暴力を目撃した子どもの心理がわかりましたか

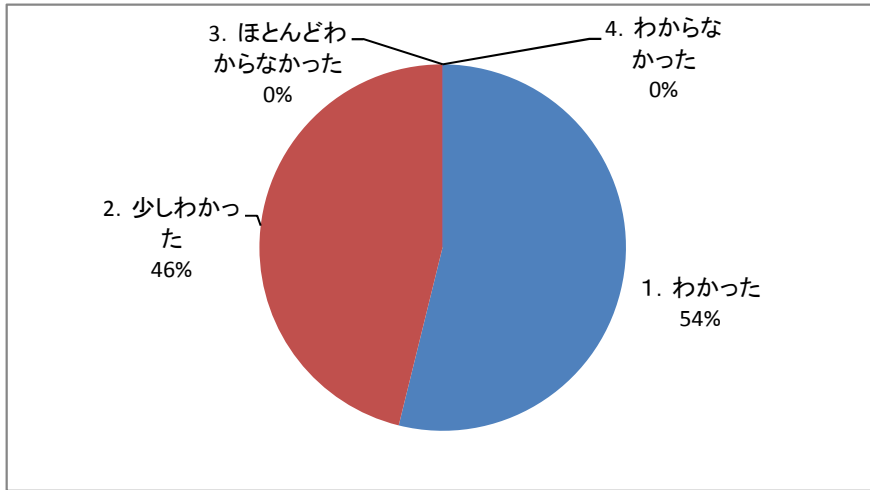
	人数	%
1. わかった	13	50%
2. 少しわかった	12	46%
3. ほとんどわからなかった	0	0%
4. わからなかった	1	4%
計	26	100%



理由をお聞かせください
少しわかったかもしれないが、わからないと思っていた。わかろうとする努力、寄りそうことを意識していたと強く思ったので。
プログラムで子供になった時にとても悲しくなりました。うまく言葉にできないことがこんなにも苦しいとは…
恐怖体験を引き出すところの留意点を再確認するところです。
ロールプレイで子どもの気持ちを考えた。
ビデオを見たから良く分かった。
ロールプレイをしたり、他の参加者の意見からわかる部分がありました。
もう少し解説がほしかった…かな。
アニメーションが心にひびきました。
直接の事例の紹介がもう少しあるとよかった。
ロールプレイを通じて、それまでに気づけなかった子どもの心理に気づいたように感じた部分があった。
一度勉強している内容ではあったが、再確認できた。
ワークショップでの子どもの役、VTRなどによって自分自身で感じる事ができた。
韓国のDVDを見て頭でわかったことが実感できた。
ロールプレイを通じて良く分かった。
特に韓国のビデオはとてもきつかったです。
DV被害の子どもを身をもって体験することができた。
子どもになりきることができた。
子役を演じるワークの中で少し共感できた気がします。
ロールプレイは大切ですね。ビデオ2つ、映像で学ぶというのもリアルでした。
ロールプレイをすることで見たり、聞いたりする以上に理解ができたと思います。
子ども役をやったことで気持ちが良く分かった。韓国のビデオがわかりやすかった。
親に対する想いがあるの行動で自分自身を責めてしまうことを聴いて、とても悲しくなりました。

(3)本プログラムの内容は分かりましたか

	人数	%
1. わかった	14	54%
2. 少しわかった	12	46%
3. ほとんどわからなかった	0	0%
4. わからなかった	0	0%
計	26	100%



理由をお聞かせください

まだまだ勉強不足だと実感しました

机の上での勉強ではなく、聴いて、こたえて、考えて…と体で知ることができました。

資料がわかりやすくまとめてあった。

全体像は分かりましたが詳細についてももう少し知りたいと思いました。

1回毎のセッションが細かく、全てはつかみきれていない。

リーダーと子どもの立場として両方を実際に体験してみることは、机上の学習とは大違いだった。

難しいこともわかりやすく伝えてくださったので良く分かった。

きちんと自分の家で起きたことを認めることが安心感の上で出発点だと思います。

傷つきに直面していいのだ、ということがわかった。

第6週～10週も実践ワークしたかったです。

ワークが分かりやすかったから良く分かった。

ワークショップ形式だったのが、よかった。

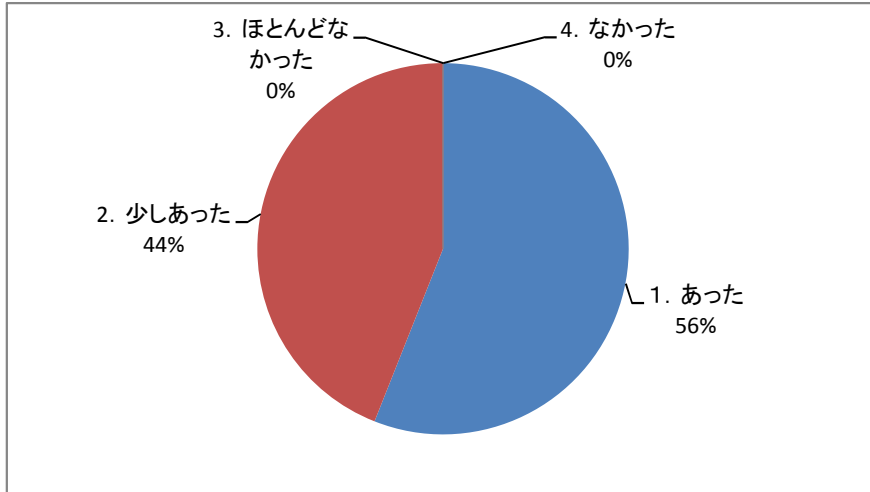
第7週、8、9のプログラムが1番気になっていた…というか、学んでみたいことだったので、具体策を知らなかったのは残念です。

具体的な進行や第4～7週のワーク役の子どもの気持ちをおとしていく作業についても知りたかった。

フィリピンのプレダ基金でも似たようなプログラムがあって、性的搾取を受けた子どもたちにも「怒り」「悲しみ」を表現されているのもあって、理解することにとまどいはなかった。

(4)連携の機会がありましたか

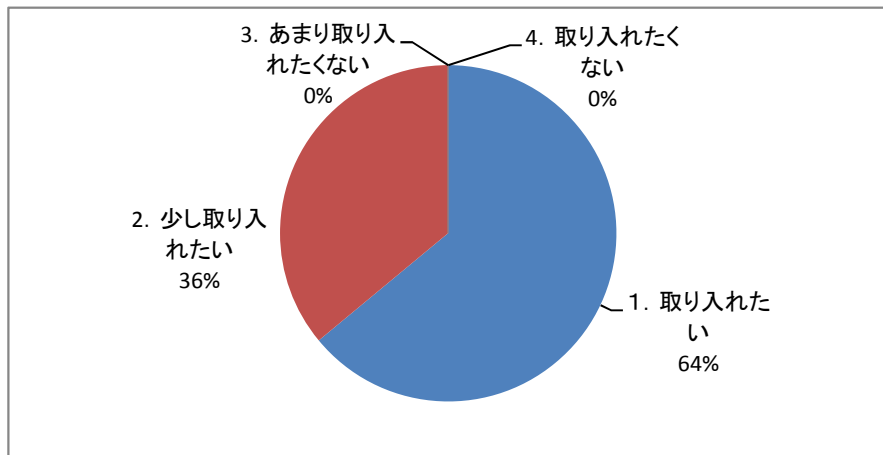
	人数	%
1. あった	14	56%
2. 少しあった	11	44%
3. ほとんどなかった	0	0%
4. なかった	0	0%
計	25	100%



理由をお聞かせください
ワークの中でも交流会でも多くお話できました。
他の職種の方と話げできました。
今後に期待します。
他の職種の方と交流することができました。
同じ関心のある方と話げできた。
各分野で活躍されている方々からいろいろな情報や刺激を受けられた。
懇親会で、ざっくばらんな話げできた。
名刺交換ができた。
他の職種の人と話し合えた。ちょうど、話したかった児童相談所の方と話せた。
現在かかえているケースの資源についての情報をもらうことができた。
名刺、本、HP、職場などの情報交換ができた。
児童相談所や、他の職種の仕事内容が分かった。
懇親会に出られれば良かった。
いろいろな立場の方々とお会いすることができ、お話できてよかった。
遠方からのため、実質の連携は難しいかな？！と思いつつ、今回のご縁を大切にしたい。今後ご縁があるかもしれない可能性はゼロではないと思っています。
1日目の懇親会に出席させて頂き、いろいろな方と話をする機会があったことはとても良かったと思います。
プロの相談員、学校教員の方々との交流はとても得るものが大きかった。

(5) 仕事や活動に取り入れたいと思いましたが

	人数	%
1. 取り入れたい	16	64%
2. 少し取り入れたい	9	36%
3. あまり取り入れたくない	0	0%
4. 取り入れたくない	0	0%
計	25	100%



理由をお聞かせください
取り入れたいです！そのためにもまず、頑張ります自分が。
子供の心に寄りそい、言葉にできないものを表現してあげたい。
部分的には取り入れられるところもあるので参考にしたいと思います。
プログラムだけでなく、研修のロールプレイを職場でやりたい。
子どもの心のケアプログラムで学んで取り入れたい部分がありました。
私の場合には実際にはむずかしいでしょうか。
(少し取り入れたい)とは思いますが、自分のスキルがおいつきません。
個別の面接にも使いたい。
子どもの利益に対して配慮がなされない状況は、社会的にも望ましくないから。
いじめ防止プログラムを、教職の研修で活かしたい。
目の前で起きている暴力を見て育ち、自己肯定感が低くなっている子ども達をエンパワーしていきたい。
こどもの心がケアーの手段として使いたい。
時間も費用もコンパクト。
ワークが具体的だったので、活かせると思う。
子どもたちと毎日接する中で、よく子どもたちを見て何かあった時には気づいてあげたいなと思った。
アレンジは必要ですが、どうにでもなるかと思います。やる気さえあれば。
子ども達がグループで行うことでの力を感じました。是非取り入れたいと思います。ただ、スクリーニングの時点で十分に判断しないといけないと思いました。
取り入れられるところがあれば取り入れたい。
やはり状況に合わせて行わなければ子どもの心理負担が大きくなるんじゃないかなと思う。しかし、有効に活用すればすごく良い！！有効活用できるよう、自分でも工夫して自分なりの方法を見つけていきたい。

3. 本プログラムのよかった点、学んだことがあったらご記入ください	
1	座学ではなく動くプログラムは良いです。実体験として学びました。
2	新しい世界を知れました。みなさんの熱心さに感激しました。
3	プログラムの流れ、構成等について勉強になりました。子どものグループによっては、韓国のアニメのようなものを視聴してセッションするのも効果的だと思いました。
4	クライアントの回復？の状況を客観的に確認できた点が良かった。
5	DVを目撃した子どもの心のケアプログラムの内容を知ることができて良かったです。
6	教育プログラムであるということを知ることができてよかった。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国のビデオが大変良かった。 ・子役、ファシリテーターになったロールプレイ ・最後のケースワークは、それぞれが専門性を発揮されていた。
8	みなさんの情熱に圧倒されました。自分もパワーをもらいました。
9	短い時間で手際よく、思いテーマを概観することができた。
10	DVに関する理解が深まったことと同時に関係機関の方々と交流しながらのワークショップで相互理解が深まった。
11	ワークショップが多くて、受身ではなく、またいろいろな人と交流できたところがよかった。
12	子どもの心に視点を置いているところ。
13	ケースワークがおもしろかった。それぞれの仕事の立場からの発言で学ぶことができた。
14	ワークショップ自体が初めてでとまどいしましたが、講義のみより体に入ってくる気がします。
15	良かった点…具体的なワークがより理解を深められた。
16	DVを受けた子どもたちへのワークを通じて、子役を演じる中で、子どもの気持ちに少し近づくことができた。またリーダーの役割や子どもへの支援の仕方を知ることができました。
17	決まった時間、グループ構成、(男女)ペアのリーダー、プログラムの内容、面白い興味深いところがたくさんありました。
18	ロールプレイを行い、大人側も子ども側も行えたことは本当によい理解になりました。
19	ケースワークで様々な機関の方と話しができ情報が得られた。
20	無記入
21	様々な立場の人たちとグループワーク。実際に起きたことを再現するロールプレイ。
22	アドボケイトの必要性をあらためて感じました。

4. 本プログラムを、どのようなことに活用しようと思いますか

1	いろいろ
2	子供の気持ちを少しでも理解できたので曲づくり、これからの活動にいかしたい
3	児童家庭相談の現場
4	養護施設の子どもたちに活用できないか…と思います。
5	無記入
6	日頃の子どもへの支援の手がかりにしたいと思います。
7	自分の仕事でも学んだことを伝えていきたいです。
8	個別面接に部分的に使いたいと思います。
9	被害者側の活動はもちろん、加害者側に立つときも、被害者の立場に配慮して妥当な解決に結び付けるようにしたい。
10	学校関係者への啓発。
11	自分の仕事(スクールカウンセリング)に活用したい。
12	自分のケース。また、学校現場での研修に活用できると思う。
13	実際DV被害の子と世帯への導入。女性相談員、母子自立支援への提供。
14	子どものサポートの場面で活用したい。
15	直接的にはないかもしれないかもしれませんが、日常接する上で心がけるべき点がわかった気がします。
16	職場での子どもたちへの対応。
17	小学校現場で、困った時に、いろいろな機関に相談したり、さまざまな方法があることがわかりました。
18	まずは職場の指導員に子ども役をさせてみます。(自分がリーダーで)子どもの気持ちを大人が体験してみることがスタートだと思います。できればうちでできる方法で簡単なプログラムを考えて、施設の子どもにも実施したいです。
19	診察していくお子さんのケアに用いていきたいと思います。
20	普段、多くの子どもたちに触れ合っていくことが多いので、その中でも大きいですが、大人でも活用できる点(男女ともに)があると思う。

5. 本プログラムの改善点は、どのようなところですか

- 1 子どもへのガイダンスの内容それぞれのセッションの導入の教示。説明の中で必ずコンプリメントしているのですが、コンプリメントの重要性、そのあたりを詳細に解説するともっと分かり易く聞けると思いました。
- 2 6週の「両親のDVを見てそれを絵にするワーク」のメインリーダーをしましたが、絵がかけた子どもに対する声かけや対応まで落としどころ(アドバイス)がほしかったです。「では、どうすればいいか？」
- 3 ないのでは？
- 4 実際のぐるーぷの場面を(できたら)VTRで観てみたい。
- 5 やむをえないことではあるが、DAPプログラムの体験は断片的でせわしない面があった。
- 6 もりたくさんすぎかもしれません。名札に職場も書くよかったのではないのでしょうか。
- 7 著書、参考文献などあったら販売してほしかった。
- 8 全国へ認知されること。
- 9 幼児のプログラムの開発をぜひ！！
- 10 グループの人数が6～8名よりも少ない時や全10回も通いないというケースがある時に(ペアでもそういうケースが少なくなないので)、どういう形でやっていけばよいのだろうか…。と思いました。
- 11 プログラムをやる中での子どもの安全(心身含め)についての説明が欲しかった。
- 12 未記入
- 13 子どもの心理負担を軽減させるための内容もあると初心者は安全かもしれない。
- 14 未記入

6. ご自由に感想をお書きください

1 ・子どもを守るためには、子どもを教育することはとても有益と思います。
2 ・子の自尊心を守るとは育てるためには、その子の親の自尊心を守ること。その視点がプログラムの中にもあるといいと思います。

3 書ききれずすみません。とにかく多く得るものがありました。ありがとうございました。またお願いします。

4 すばらしい体験ができました。この出会いを大切に、そして音楽を通じて活動、支援を広げていきたいです。

5 2日間ご苦勞様でした。盛り沢山の内容でしたが、これは企画者のサービスだと思って素直に参加できました。時間が限られているので、1～10週の内の幾つかのデモンストレーション的セッションにより、ある週のセッションを集中して取り上げるのも有効だと思いました。

6 本当にいろいろな方とお会いできました。人数もちょうど良いので皆さんと顔を見てお話でき、心強いと感じました。また明日から仕事をがんばろうと思いました。ありがとうございました。

7 みんなプロの方で、すごくいろいろ専門的な話を聞かされました。よい勉強をしたと思います。

8 2日間ありがとうございました。いろいろ学ぶことができました。今後の仕事と活動に取り入れたいです。

9 日頃、児童福祉の観点から仕事をしているので、立場の違う方々と知り合え、多くの刺激をいただきました。

10 お疲れ様でした。ミキシング良かったです。大成功でしたね！！

11 2日間ありがとうございました。いろいろ学ぶことができました。今後の仕事と活動に取り入れたいです。

12 2日間どうもありがとうございました。大変充実した内容で、とても有意義なものでした。時間が足りず、あまりアンケートをかけませんでしたが、これから今日のことをどう活かすかゆっくり考えていきたいと思います。

13 修習生のときからの希望であった本プログラムの受講がやっとかなった。さて、今後は…。

14 1人でも多くの子どもたちの笑顔のために明日からもがんばろうと思える研修でした。ありがとうございました。

15 いろいろな職種の方と知りあうことができ、それぞれの専門性の中から学べるのがとても多かった。

16 2日間参加できてとても良かったです。早速明日の打ち合わせで紹介します。

17 低額で濃い内容が経験出来、本当に感謝します。一番感銘を受けたのは、いろいろな分野の方々や学生さんがこんなに関心を持って積極的に係わりようとしているのを知ったことです。ありがとうございました。出来るだけ多くの人に受けて欲しいです。他の機関の方々(虐待やデートDV等の支援をしている人)も受けられると良いと思いました。

18 DVで一時保護された子どもは同伴児ではない！ケアされる主体である！！声を大にして伝えたい。

19 今日、ほんとうにいろいろな方々とお話ができて勉強させていただきました。1つのケースに関してさまざまな機関が連携していることを知れてよかったです。2日間ほんとうにありがとうございました。

20 熱心に活動しておられる方たちの様々なお話が聞けて、研修プログラム以外にも学ぶ機会が多かったです。関東の方は素晴らしい研修に恵まれてうらやましいと思いました。「先進的な取り組みを知ること」実現が難しいような現状があったとしても、知るだけでもまずは進歩ですね。

21 2日間、本当にありがとうございました。是非、他のプログラムetcでも講習を受けたいと思いました。

22 1日のみ参加させて頂きました。やはり2日間参加したかったな、ともったいない思いです。様々な職種の方がいらして刺激になり、学校で何ができるのか改めて考えたいと思います。

23 2日間を通じて、全く触れる機会がない専門家の方々とも本気で話し合うことができたことはとても自分の経験に大きな影響を与えてくれました。プログラムの内容は活用次第で大人にも可能なプログラムだと思います。

ワークショップ楽しませていただきました。ありがとうございました。